

ユネスコ・エコパーク（生物圏保存地域；Biosphere Reserve）におけるESDおよびESD関連事業の展開

【2. フランスの事例】

日本 MAB 計画委員会
事務局 山口史枝 作成
平成 22 年（2010 年）8 月 23 日

《プロジェクトシート》

フランスでは、下記の Web ページにてプロジェクトシートを公開している。

http://www.mab-france.org/eng/publi/C_publi_mabf.html

- 1 人間とユネスコ生物圏のプログラム
- 2 地域の共同管理のための支援モデル
- 3 Berezinsky と Vosges du Nord：東西生物圏保護区の友好関係
- 4 ローヌデルタ湿原の管理と持続可能な利用
- 5 ノール地方 Vosges のフクロウと果樹園の生物圏保護区
- 6 より自然に近い森林の持続可能にむけて
- 7 持続可能な開発のための教育：生物圏保護区間の学校における姉妹校提携
- 8 Ouessant 島における自然と人間社会の力学的モデリング
- 9 平原の荒地からの風景
- 10 Ouessant 島の中心課題：島発見のための道具
- 11 生物保護区の調査
- 12 生物保護区の構築プロジェクト
- 13 フランスの生物保護区の一般参加研究
- 14 地域の共同管理支援のためのモデリング：未来への創造

《フランスの MAB グループ教育への活動》

http://www.mab-france.org/fr/MAB_en_france/groupes_thema/C_pedag.html

- ・ 定期的なミーティングによる実習と経験の共有
- ・ 地域に基づく教育活動の展開（様々な機関や団体との協力体制のもと）
- ・ 生物圏保護区地域の発見：歴史的、文化的な側面からのアプローチ

- 相互教育プロジェクトとして、地域の子供たちと現地で観察、調査を行ない自然科学的な知識と情報を提供する
- 社会的なプロジェクトとして、一般市民への教育。
- 21 の学校による提携
- グローバルネットワークを 105 カ国へ提供。Web 上から ESD や生物保護区についての学習を可能にしている。また CD-ROM などの配布を行っている。
- 現在、21 の学校における教育カリキュラムに ESD を取り入れている。時空間スケールを身につけ、科学的な生物相互作用の複雑さを強調している。学校では、持続可能な開発の構想の構築と教員養成を呼びかけている
- 生物保護地区についての科学的・技術的・教育ネットワーク関連のデータソースの整備をし、教師のために開発、提供しています。
- いくつかの生物保護地区では、教師のためのトレーニングコースをつくっています。別の機関や団体の環境教育と持続可能な開発に関しての連携を強化し、関係所管でネットワーク化をすすめている。
- 管理計画のために様々なデータ採取を行っている。研究者だけでなく、地域の団体、地方自治体、学校などが参加している。一般の人も含めるために科学的にしっかりしたデータをとれるように教育も必要になります。